

2011年度

科目名	教育実習指導(社会)			
担当教員	宇野 佳子、松田 智弘			
配当	文財4		コード	80253
開期	集中通年	講時	集中0限	単位数 1
授業テーマ	中学校の社会科実習の意義理解と教職への一体感について			
目的と概要	教育実習は大学における教育職員養成過程の基礎として、中学校の教育現場に臨み、直接的・体験的に実施する課業である。本講座では教育実習を事前・実施・事後のまともに位置づけ、教員を志すものとして自らの生き方と重ね合わせ、その資質能力を高めるとともに教職への一体感を培う。 実習生としての心得と社会科の学習指導要領を確認して、授業に備える。そして、実習校での指導者による、授業内容及び授業方法の指導に従った授業展開ができるよう、各自の心づもりを指導する。			
成績評価法	(1) 授業後のレポート(50%) (2)教育実習終了報告書・実習校評価(30%) (3)授業態度(20%)などを参考に総合的に判断します。			
テキスト	適宜、資料配布			
参考書				
履修に当たっての注意・助言/準備学習	(1)授業の開講日に注意 (2)教育実習の手続きを確実に (3)「実習後報告書」の提出 (4)授業は2名の教員で実施 2名の各授業日と各授業時間とを確認して、1名だけの受講にならないようにする。 2名が担当する授業をどちらも受講しなければ受講したことにならないので注意。 配布する学習指導要領を熟読して授業には臨むこと。			
講義計画				
第1回	教職課程・教育実習の意義を理解する。			
第2回	人権教育の課題と指導のあり方について理解を深める			
第3回	実地研究の観点や学習指導について理解を深める。			
第4回	実地研究の観点や生徒指導について理解を深める。			
第5回	中学校社会科学習指導要領の確認及び指導法(地理的分野)			
第6回	中学校社会科学習指導要領の確認及び指導法(歴史的分野)			
第7回	中学校社会科学習指導要領の確認及び指導法(公民的分野)			
第8回	中学校社会科学習指導案の確認及び指導法(模擬授業を含む)			
第9回	実地研究のまとめ・発表と講評指導。			
第10回	教育実習後の感想と自らの教員志向についてレポートを書き、提出。			
<教育実習>	* 実習校への挨拶・打ち合わせ訪問(各自) ※後期実習生は一ヶ月前 * 中学校の教育実習(専任教員による訪問指導) * 実習終了報告書の提出			